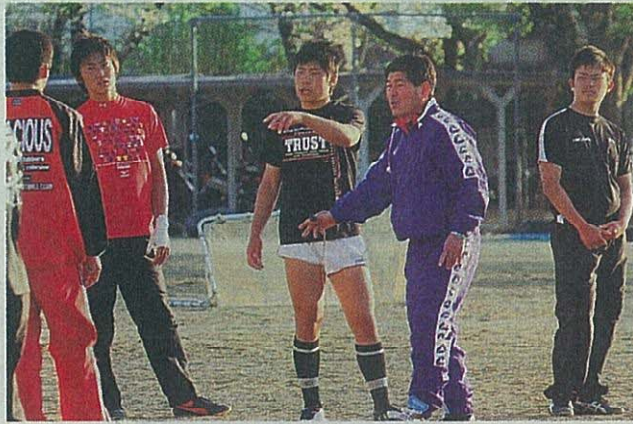


今春定年退職、元日川高ラグビー部監督



有賀健さん 高校生ら指導

躍。日川高
手、指導者としても経験豊富。
一日本大を
指導を受けた高校時代の有賀先
生はとも敵しく、練習ではよ
人のリコー
く走ったのを感じている」と話
す。有賀さんは「ラグビーの基
本は走る。基本がしっかり
しないと、チームは伸びない」
と持論を披露する。

今年3月で高校教諭を定年退
職した元日川高ラグビー部監督
の有賀健さん(60)が、4月から
アドバイザーの立場で指導を始
めた。教え子が監督を務める日
川高、山梨学院大、社会人チー

大学、社会人時代には日本一を
経験。日体大4年時に日本代表
に初選出され、代表キック数
は15を数える。
1978年に教員となり、吉
田高で指導者の道をスタート。

花園では95年度の第75回大会
の日川高のベスト4を最後に、
山梨代表は4強から遠ざかって
いる。有
賀さんは
「常に全

「恩返し」レベル向上へ一役

ムのクリーンファイターズのグ
ラウンドに足を運び、「自分を
育ててくれた山梨のラグビーに
恩返しをしたい」と競技力の底
上げに情熱を注いでいる。

83年に母校・日川高に赴任し、
4年間コーチを務め、87年に監
督に就任した。監督として全国
高校大会(花園)に12度出場。
4度のベスト4入りを果たし、
日本代表やトップリーグで活躍
する選手を多数育てた。

県内のラグビー競技人口は減
少。県ラグビー協会の副会長で
もある有賀さんは「スクールな
どを開き、小中学生の年代から
ラグビーに触れてもらう機会を
増やしたい」と普及にも力を入
れるつもりだ。

現役時代はWTBとして活
躍。日川高の競技力底上げの
ため、指導に当たる有賀健さん
(右から2人目)

日川高の榎原宏之監督は「選
手、指導者としても経験豊富。
一日本大を指導を受けた高校時代の有賀先
生はとも敵しく、練習ではよ
人のリコーく走ったのを感じている」と話
す。有賀さんは「ラグビーの基
本は走る。基本がしっかり
しないと、チームは伸びない」
と持論を披露する。

日川高グラウンド

日川高の榎原宏之監督は「選

手、指導者としても経験豊富。